

令和 年 月 日

北海道上川総合振興局長 様

競争入札参加希望者
住 所
商号又は名称
代表者氏名
(共同企業体の場合は企業体名を冠にすること)

※ 事前登録済みの会社(構成員)は、下記に最新登録番号を記載

上川-R5-〇〇-〇

※ 共同企業体として登録している場合は、共同企業体とその構成員

技術評価項目申請書作成マニュアル**技術評価項目申請書**

簡易型総合評価落札方式のための技術評価項目申請書を提出します。添付資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

記

※本マニュアルは「R5ガイドライン用」です。

(R5年6月発注からR6年5月発注工区まで有効)

※評価は自己採点申請書優先です。

(評価修正:下方修正はしますが、上方修正はしません)

※事前登録した場合は上川総合振興局産業振興部整備課から通知された「総合評価落札方式一般競争入札に係る技術評価項目の事前登録結果について」の公文書、事前登録票(その1~その3)を併せて提出してください。

※事前登録した内容を変更する場合は、記載内容を変更して提出してください。

※事前登録可能な項目をまとめるため、様式(シート)の集約と追加(分割)して

メールアドレス:

注1 技術評価項目のうち、共同企業体で申請する場合は、様式6-5(2)、7、別紙(過去10年同種工事)、別紙(地域精通度)の各様式は代表の構成員が共同企業体として作成し、残りの様式は構成員ごとに作成し提出すること。

注2 事前登録済みの会社(構成員)の場合、技術評価項目申請書と併せて最新の事前登録票を提出することにより、様式-4、6-1(2)、6-2、6-3、6-4、6-5(1)、別紙(過去10年同種工事)、別紙(地域精通度)の各様式の提出は不要とする。
ただし、事前登録票が未提出の場合、事前登録項目を評価できないため、注意すること。

(用紙寸法 日本工業規格A4)

様式－ 4 ※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】

企業の施工能力等調書

工 事 名： (2601)経営体 ○○地区 ○工区
会 社（構成員）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体（株式会社 ○○建設）

・JV申請の場合は、構成各社ごとに作成してください

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

◎ 工事施行成績の評価対象は、（総合）振興局調整課又は農村振興課注工事で、令和3年1月1日から令和4年12月31日までの期間に、完成通知（元請）を受け、その後引渡が完了した工事とする。

（共同企業体の構成員としての実績は、出資

◎ 工事施行成績は、当該工事と同じ入札参加資

・「年度」ではなく、「暦年」！
（「R3年・R4年」の過去2年間）

事前登録項目

事前登録項目	完成年月日	コリンズ番号	請 負 人 名	工事施行成績 評 定 点
経営体 ○○地区 **工区	令和3年2月**日			89
農道特対 ○○地区 **工区	令和3年12月**日			90
経営体 □地区 **工区	令和4年12月**日			90
			合計占数	269
		3		89.6

・契約工期の完了日がR5年でも、完成日がR4の場合は含まれる。

・R2年度工事でも、完成がR3の場合は含まれる。

・平均点：小数第2位を切り捨て1位止め

・「工事施行成績の評定結果について」は、各（総合）振興局から工事完了後に通知された資料です。

・事前登録申請の場合は確認資料の提出は不要です。

注1 平均点は、小数第2位を切り捨て1位止めとする。
2 共同企業体の構成員としての実績の場合、請負人名称は共同企業体の名称を記入する。
3 完成年月日、工事施行成績評定点を確認できる資料（「工事施行成績の評定結果について」の写し）を提出する。

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

北海道農政部工事等優秀業者表彰（ あり ・なし）	（あり）
※ 表彰がある場合は、下欄に表彰年月日、表彰種別、会社名を記入する。	農政部工事又は建設部舗装部門
部 門	農業土木
会 社 名	株式会社 ○○建設
表 彰 種 類	道新技術・新製品開発
表 彰 年 月 日	令和元年11月**日
表 彰 種 類	
表 彰 年 月 日	年 月 日
表 彰 種 類	
表 彰 年 月 日	年 月 日

・過去5年間
（「暦年」ではなく「年度」）
（H30.4.1～R5.3.31）

注1 共同企業体の場合は、表彰のある会社名を記入する。
2 感謝状、表彰状の写し等の内容が確認できる資料を提出する。

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

ISOマネジメントシステムの取得（登録）の有無	（あり）
※ 取得（登録）がある場合は、下欄に登録年月日、登録番号及び有効期限を記入する。	
登 録 年 月 日	平成22年10月10日
登 録 番 号	INJQ-***
有 効 期 限	令和5年10月10日

・有効期限が公告日前だとNGなので、注意。
事前（年度内）に変更申請が必要。

注 登録証書の写しを提出する。

※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】

（別紙）

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

（企業の施工能力） 過去10年間の同種工事の経験に関する調書

事前登録項目

会社（企業体）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体

受注者名	株式会社 ○○建設	主たる営業所所在地	○○市
工事名	経営体△△地区62工区		
発注機関名	上川総合振興局調整課		
施工場所	旭川市		
契約金額	○○円		
工期	H30年4月15日～H30年12月10日		
受注形態	単体 / 共同企業体（出資比率%）		
工事概要	③同種工事の経験は 工種：区画整理整地（水田） 事業量：区画整理（水田）＝整地工 A=10.2ha に対する経験が対象となります。 ここでは「整地工A=8.8ha」が実績となり、 評価は「同種工事の実績が当該工事規模の1/2以上」 となります。		

- 注 1 過去10年間の施工実績を記入すること。
 2 「受注者名」欄は、受注実績が共同企業体の構成員としてのものである場合、共同企業体の名称を記載すること。
 3 工事施工実績を証明するものとして、コリンズ（工事実績情報サービス）のデータ等（工事実績）の写しを添付すること。
 4 共同企業体としての実績の場合は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
 5 工事実績は、評価が最も高くなると予想される工事を1つ選択し記載する。

②評価の基準となる同種工事の規模は、「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある工事量のうち、下線のある工事工種の工事量なので、「整地工 A=10.2ha」となる。

①評価の基準となる同種工事は、「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種かつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種なので「区画整理整地工（水田）」となる。

入札の公告（別紙）

【簡易評価方式】

入札に付				入札に参加する者に必要な資格						
制限付	工事番号(26**)	工事の場所	工事の期間	工事の概要	リサイクル法等	競争入札参加資格	建設業法第3条第1項に規定する営業所の対象地域	本工事と同種で同規模と認められる工事	おおむね同規模と認められる工事	建設業法許可業種
						単体企業 (※1) 経常建設共同企業体 (※2)				
一般競争	経営体		契約締結の日	整地工(標準切器) A=10.2ha 暗渠排水 A=12.2ha 客土 A=8.4ha 用水路 L=963m (VUφ150~φ350) (φ250~φ800) 排水路 L=347m (V70)	対象	農業土木 A	上川総合振興局管内に主たる営業所を有する者であること	構成員のいずれかが上川総合振興局管内に主たる営業所を有すること	「区画整理整地（水田）」工事A=5ha以上 の元請け実績及び「用水路（現場打又は装工又は管水路）」工事の元請け実績	土木事業
	1	○○地区 ○○工区	○○市							

「工事規模の1/2」の工事量は小数点以下切り捨て整数止め。
 例：当該工事の工事量の1/2 = 10.2ha/2 = 5.1 = 5ha

入札参加資格（同種同規模）は「過去15カ年」ですが、総合評価の対象は「過去10年間」。
 (H25.4.1～R5.3.31)

過去15カ年

「過去10年間の同種工事の経験」の「同種工事」は「主たる工種」欄ではない。

「同種工事工種」と「同規模」の考え方は「<参考資料1> 「同種工事工種」と「同規模」の考え方を参照のこと。

「主たる工種」欄は「配置予定技術者の配置経験」の「同種工事」の時だけに注目。「同種工事」は「主たる工種」と「その上位互換工種」。

(企業の施工能力)

過去10年間の同種工事の経験に関する

事前登録項目

事前登録申請書

会社(構成員)名: 株式会社 ○○建設

・上川総合振興局「建設管理部」と区分するため、「上川総合振興局調整課」としてください。

構成員ごとに作成し提出すること。

水田	施工年度	事業量	工事名	発注機関	所在地	契約金額	工期	契約企業名	受注形態
整地工	H28	22.9 ha	経営体○○地区○工区	上川総合振興局調整課	△△町			○○・△・□□JV	単体/共同企業体 (出資比率 60%)
暗渠排水	H29	22.1 ha	経営体△△地区○工区	上川総合振興局調整課	○○市		○.15	○○・△JV	単体/共同企業体 (出資比率 60%)
客土		ha							単体/共同企業体 (出資比率 %)
畑地									
区画整理	R4			興局	○○市	289,399		○○	単体/共同企業体 (出資比率 %)
暗渠排水	R4			興局	○○市	289,399,000	R4.4.20 ~ R4.7.10	株式会社 ○○建設	単体/共同企業体 (出資比率 %)
客土	R4	10.3 ha	畑地帯□□地区	上川総合振興局調整課			R4.1.1 ~ R4.1.1	株式会社 ○○建設	単体/共同企業体 (出資比率 %)
除レキ	H28	12.8 ha	経営体○○地区○工区	上川総合振興局調整課			~ H28.3.31	○○・△・□□JV	単体/共同企業体 (出資比率 60%)
用水路	R4	3,257 m	◎◎地区△△工区○工区	旭川開発建設部	○○町	275,000,000	R4.4.21 ~ R5.2.10	○○・△JV	単体/共同企業体 (出資比率 60%)
排水路	R1	2,015 m	経営体□□地区□工区	○○総合振興局調整課	○○市	291,679,000	H31.3.25 ~ R2.1.30	□□・○○・△JV	単体/共同企業体 (出資比率 20%)
道路改良	H26		○○町○○地区○工区	上川総合振興局建設管理部				□・○○特定JV	単体/共同企業体 (出資比率 40%)
※車道本体工事に限る									
営農用水(管路)	R1	893 m	中山間○○地区○工区	○○振興局農村振興課	○○町	192,500,000	R1.5.21 ~ R1.10.30	株式会社	・特定建設共同企業体の場合は「特定JV」としてください。
畑かん(管路)		560 m	○○町水道工事△工区	○○町	○○町	24,200,000	R4.6.21 ~ R4.11.10	株式会社 ○○建設	単体/共同企業体 (出資比率 %)

・事業量が「面積 (ha)」の場合は小数点以下1桁表示 (小数点以下2桁目以下切り捨て)

・経常建設共同企業体の場合は「JV」としてください。

・「【水田】除レキ」は「【畑地】除レキ」欄に記載してください。

・評価対象は過去10年間 (H25.4.1~R5.3.31) (「暦年」ではなく「年度」)

・共同企業体の場合は、出資比率20%以上

・事業量が「延長 (m)」の場合は整数止め (小数点以下切り捨て)

・「H31」は「R1」と記載してください。

・上川総合振興局「調整課」と区分するため、「上川総合振興局建設管理部」としてください。

・「営農用水」「畑かん」には「用水路(管路)」「排水路(管路)」は該当しませんが、「水道工事」は該当します。

・発注機関は他の振興局(建設管理部含む)、開発局、市町村でも可

- 1 「営農用水」「畑かん」には
- 2 「用水路(管路)」「排水路(管路)」は該当しませんが、
- 3 「水道工事」は該当します。
- 4
- 5 工事実績は、事業量が最も高くなると予想される工事を1つ選択し記載すること。
- 6 「【水田】除レキ」は「【畑地】除レキ」欄に記載すること。

共同企業体承認書(工事実績)の写しを添付すること。

※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】

（別紙）

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

地域精通度に関する調書

事前登録項目

会社（企業体）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体

受注者名		主たる営業所所在地	
工事名等	工事名		
	発注機関名		
	施工場所	(市町村名)	
	契約金額		
	工期	年 月 日 ~ 年 月 日	
	受注形態	単体 / 共同企業体 (出資比率%)	
工事概要	<p>※ 留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上川総合振興局調整課発注工事に限る（開発局・建設管理部・市町村発注工事～NG） ・ 最終請負金額：5百万円以上 ・ JVの場合：出資比率20%以上の場合のものに限る ・ 「過去10年間」は「年度」（H25. 4. 1～R5. 3. 31） 		
	<p>・ 「自己採点申請書」の評価点と異なる記載が多々ありますので注意！</p>		

・JV申請の場合の提出資料は、「1社分」だけで構いません。
 （「構成各社ごと」の資料提出の場合は、評価点の有利な方を評価します）

- 注
- 1 過去10年間の工事箇所と同じ地域（上川総合振興局管内）での施工実績を記入すること。
 - 2 「受注者名」欄は、受注実績が共同企業体の構成員としてのものである場合は、当該共同企業体の名称を記載すること。
 - 3 工事施工実績を証明するものとして、コリンズ（工事実績情報サービス）の登録内容確認書（工事実績）の写しを添付すること。
 - 4 共同企業体としての実績の場合は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
 - 5 工事実績は、上川総合振興局調整課発注の最終請負金額5百万円以上の工事で、評価が最も高くなると予想される工事を1つ選択し記載すること。

地域精通度に関する

事前登録項目

事前登録申請書

会社（構成員）名： 株式会社 ○○建設

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

市町村名	和寒町	剣淵町	士別市	下川町	名寄市	美深町
施工年度			R2		H29	
事業名			経営体		経営体	
地区名			○○地区		□□地区	
工区名			○工区		○工区	
契約企業名			(株)○○建設		(株)○○建設	

・事前登録申請の場合、
証明書類は不要です。

市町村名	音威子府村	中川町	幌加内町	鷹栖町	旭川市	比布町
施工年度					R1	
事業名					水利施設	
地区名					△△地区	
工区名					△工区	
契約企業名					○○・△JV	

・「H31」は「R1」と記載してください。

・経常建設共同企業体の場合は「JV」としてください。

市町村名	愛別町	上川町	当麻町	東川町	東神楽町	美瑛町
施工年度						
事業名						
地区名						
工区名						
契約企業名						

・上川総合振興局調整課発注工事に限る
（開発局・建設管理部・市町村発注工事～NG）
・最終請負金額：5百万円以上
・JVの場合：出資比率20%以上の場合のものに限る

市町村名	上富良野町	中富良野町	富良野市	南富良野町	占冠村
施工年度	R4	R4			
事業名	畑地帯	畑地帯			
地区名	●●外1地区	●●外1地区			
工区名	○工区	○工区			
契約企業名	□・○○ 特定JV	□・○○ 特定JV			

・特定建設共同企業体の場合は「特定JV」としてください。

注

※ 事前登録の場合、証明書類は不要です。

- 1 上川総合振興局管内の調整課発注工事の過去10年間（H25.4.1～R5.3.31）の施工実績を記入すること。
- 2 「契約企業名」欄は、受注実績が共同企業体の構成員としてのものである場合は、当該共同企業体の名称を記載すること。
- 3 工事施工実績の証明書類は不要です。
- 4 共同企業体としての実績の場合は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 5 工事実績は、上川総合振興局調整課発注の最終請負金額5百万円以上の工事であり、評価が最も高くなると予想される工事を1つ選択し記載すること。

・過去10年間（「暦年」ではなく「年度」）
（H25.4.1～R5.3.31）

様式-5

配置予定技術者調書（総合評価用）

事業 経営体 ○○地区 ○工区
 会社 株式会社 ○○建設
 ※ 大向企業等で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること

・JV申請の場合は、構成各社ごとに作成してください

・令和4年度から 様式6-1を(1)と(2)に分割し、様式-5と様式6-1を一つのシートにしています。

・R4年度から、3名→1名の記載欄に変更しています。

氏名	山田太郎
生年月日	昭和 51年 3月 23日生
資格	種 1級土木施工管理技士
	取 平成 16年 2月 25日

注1 配置予定技術者を特定出来ない場合は、複数の候補者の中から、評価の合計が最も低い者を記入すること。
 (申請した配置予定技術者と実際の配置技術者が異なることは問題ないが、申請した配置予定技術者の評価より実際の配置技術者の評価が下がる場合、減点の対象となるので注意すること。)
 2 記載内容を証明する資料として、...する書面、CPD受講証明書及び表彰状等の写しを併せて提出すること。

・資格は評価が高くなる1種類を記載してください。
 ・土木施工管理技士（一級、二級）
 ・建設機械施工管理技士（一級、二級）
 ・技術士
 （農業部門（選択科目「農業土木」、「農農村工学」）、建設部門）
 ・資格証の写しを提出する。

・JV申請では、「特定できる場合」と「できない場合」で評価点の考え方が違います。「<参考資料2> 自己採点申請書の配置予定技術者の評価方法について」を参考のこと。

継続教育の取得単位	団体名	取得数	取得期間
	連 合 会	13 ユニット	1 年間
	技術士会	CPD時間	年間
	農業農村	CPD時間	年間
	土木学会	単位	年間
	その他		年間

・証明書の「取得期間」は「年度単位」が基本。
 例) 基本：2年間 2020. 4. 1～2023. 3. 31
 例外：2年間 2020. 4. 10～2023. 4. 9

・連合会の場合、
 ・10ユニット以上/過去1年間 (R4. 4. 1～R5. 3. 31)
 ・20ユニット以上/過去2年間 (R3. 4. 1～R5. 3. 31)
 ※令和5年度は特例措置による。(次項参照)

・証明書の写しを提出する。
 ※年度単位でない場合は取得状況の内訳が必要。(取得期間に令和4年度は必須)

優秀技術者等表彰	申請の有無	あり・なし	
	表彰年月日	平成31年3月31日	
	他工事と兼任予定	あり・参加申請中・なし	
	兼任予定工事	入札日	令和5年6月21日
		工事名	経営体 ○○地区 ○工区
	工期	R5. 6. 28 ~ R5. 12. 20	

・表彰があっても兼任等で申請しない場合は「なし」としてください。
 ・申請の有無が「なし」の場合、「表彰年月日」～「兼任予定工事」の欄は記載不要。

・上川総合振興局調整課発注工事のみ評価。
 ・表彰状の写しを提出する。
 ・過去5年間で「暦年」ではなく「年度」(H30. 4. 1～R5. 3. 31)

・兼任予定工事が同一入札日の場合は開札順を基本に評価する。

配置経験	工事	経営体△△地区62工区
	発注機関名	上川総合振興局調整課
	施工場所	旭川市
	契約金額	○○円
	契約工期	H30. 4. 15 ~ H30. 12. 10
	従事役職	担当技術者
	工事内容	工事実績 整地工A=8.8ha 暗渠排水工A=43.5ha 客土A=7.3ha

・上川以外も可(石狩・空知、etc)
 ・農業土木以外も可(開発局・建設管理部、etc)

・過去10年間で「暦年」ではなく「年度」(H25. 4. 1～R5. 3. 31)

・現場代理人、主任技術者、監理技術者、現場技術者、担当技術者として配置されたことを証明できる資料を提出すること。

8 配置経験欄の工事内容は、当該公告で求めた「主たる工種」の工事工種及びその上位互換のある工事工種とする。ただし、...

・評価対象工種は、「入札の公告(別紙)」の「主たる工種」の同種工事工種及びその上位互換のある工事工種
 ・「工事規模」要件はありません。
 ※評価対象工種の優先順位(上位互換)の考え方については、次項及び<参考資料1>を参照

※ 継続教育の種類及び推奨単位は、次のとおりとする。

・令和5年度特例措置による推奨単位

団体名	単位	推奨単位（令和5年度特例措置による）				
		1年間	2年間	3年間	4年間	5年間
（取得期間）		R4.4.1～ R5.3.31	R3.4.1～ R5.3.31	R2.4.1～ R5.3.31	H31.4.1～ R5.3.31	H30.4.1～ R5.3.31
（一社）全国土木施工管理技士会連合会	ユニット	10以上	20以上	30以上	50以上	70以上
（公社）土木学会	単位	25以上	—	—	—	—
（公社）日本技術士会	CPD時間	25以上	—	75以上	—	—
（公社）農業農村工学会技術者継続教育機構※	CPD時間	25以上	—	—	—	—
上記以外の団体		各団体の推奨単位とする。				

※認定確定の8月を基準日とする。

- ・ 推奨単位の1年間は、令和4年度に取得した単位とする。
- ・ 推奨単位の2年間以上は、令和4年度を含めた期間に取得した単位とする。
（2年間の場合、令和3年度及び令和4年度の2年間）
農業農村工学会技術者継続教育機構の場合は、認定確定の8月を基準日とした期間とする。
 - ・ 令和5年8月公告の場合まで：令和4年8月に証明された期間
 - ・ 令和5年9月公告の場合以降：令和5年8月に証明された期間

※ 配置経験における評価対象工種の優先順位（上位互換）の考え方について

- ・ 工種の難易度や必要とされる技術力に応じて、次のとおり工種の優先順位を定めています。
- ・ 「主たる工種」より優先順位の高い配置経験があれば、評価します（上位互換）

- ・ 面工事の配置経験の優先順位：「水田>畑」（ただし、同種工事の場合）
～「畑」の面工事場合、「水田」の配置経験があれば「畑」の経験がなくても評価。（上位互換）

例

主たる工種	整地（水田）	整地（畑）
評価対象の配置経験工種	整地（水田）	整地（水田） 整地（畑）

・企業の施行能力での「過去10年間の同種工事の経験」よりも、同種工事の工種が緩和されます。

- ・ 面工事の配置経験の優先順位：「区画整理整地>暗渠排水>客土」
～「主たる工種：客土」の場合、「客土」の経験がなくても「整地工」「暗渠排水」の経験があれば評価（上位互換）

例

主たる工種	整地（水田）	暗渠排水（水田）	暗渠排水（畑）	客土（水田）
評価対象の配置経験工種	整地（水田）	整地（水田） 暗渠排水（水田）	整地（水田） 整地（畑） 暗渠排水（水田） 暗渠排水（畑）	整地（水田） 暗渠排水（水田） 客土（水田）

- ・ 線工事の配置経験の優先順位：「用水路>水路」（「水路」とは、用水路・排水路の双方を指す）
～「主たる工種：排水路」の場合、「排水路」の経験がなくても「用水路」の経験があれば可（上位互換）
（ただし、「現場打コン・二次製品・管水路」間の優先順位はなく、同順位）

例（用水路）

主たる工種	用水路（現場打コン）	用水路（二次製品）	用水路（管水路）
評価対象の配置経験工種	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路）	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路）	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路）

例（水路）

主たる工種	排水路（現場打コン）	排水路（二次製品）	排水路（管水路）
評価対象の配置経験工種	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路） 水路（現場打コン） 水路（二次製品） 水路（管水路）	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路） 水路（現場打コン） 水路（二次製品） 水路（管水路）	用水路（現場打コン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路） 水路（現場打コン） 水路（二次製品） 水路（管水路）

・企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」は公告（別紙）の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の「規模のある工事工種」が「同種工事」

・配置予定技術者の「配置経験」での同種工事工種は公告（別紙）の「主たる工種」で判断する。

- ・ 「主たる工種：営農用水・畑かん」の場合：
～上下水道の管路工は評価するが、用水路（管水路）は評価しない

- ・ 「営農用水・畑かん」と「用水路（管水路）」の優先順位（上位互換）はありません。

「同種工事工種」の考え方は「<参考資料1> 「同種工事工種」と「同規模」の考え方」を参照のこと。

※ 配置予定技術者が年度内に複数工事を担当する場合の考え方について

建設業法上兼任配置を認める場合の評価の扱いについては、次のとおりとする。

主任(監理)技術者	兼任の場合
(1)資格	重複して評価できる。
(2)継続教育	重複して評価できる。
(3)優秀技術者等表彰	上川総合振興局産業振興部調整課発注工事の兼任予定の工事と重複して評価しない。
(4)配置経験	重複して評価できる。

(参考例) ある主任技術者が、年度内に複数工事を担当する場合

上川総合振興局産業振興部調整課

工事A (主任技術者)	工事B (主任技術者)	工事C (主任技術者)
----------------	----------------	----------------

主任技術者の想定

(1)資格
→一級土木施工管理技士

(2)継続教育
→併発単位以上取得

(3)上川総合振興局
優秀技術者表彰
→2年前に受賞

	工事A	工事B	工事C
(1)資格	評価	評価	評価
(2)継続教育	評価	評価	評価
(3)優秀技術者 表彰	評価	評価しない <small>(兼任の工事Aで適用済のため)</small>	評価 <small>(兼任の工事Bで適用済のため)</small>
(4)配置経験	評価	評価	評価

※ 配置予定技術者の記載欄が1人に変更となったことによる注意点

・自己採点申請書の記載時に、注意が必要。

配置予定技術者の記載欄が3人から1人に減少したことにより、様式5の記載だけで「特定できる場合」と「特定できない場合」かの判断が不可能となった。

共同企業体で申請する場合、「特定できる場合」だけ、各項目で最も評価の高い構成員の評価の合計（「いいとこ取り」）することが可能。

しかし、今回の様式変更に伴い、いずれかの構成員に「特定できない場合」があっても、様式5には「1人」しか記載できないことから、全社「特定できる場合」と誤った過大評価のまま、自己採点申請書に記載してしまい、履行確認時に評価が下がり、ペナルティ（当該工事の工事施行成績評定表の評定点合計からの減点）を受ける場合があるので注意が必要。（ただし、履行確認時に記載した評価点以上となる場合を除く。）

対処方法としては、各構成員ごとに「特定できる場合」か「特定できない場合」か判断し、自己採点申請書に記載する評価値と整合を図る。

詳細については、「<参考資料2> 自己採点申請書の配置予定技術者の評価方法について」を確認してください。

・「<参考資料2> 自己採点申請書の配置予定技術者の評価方法について」を参照

様式- 6 - 1 (1)

担い手の育成・確保 調書 (1-1)

工 事 2601) 経営体 ○○地区 ○工区
 会社 (株式会社 ○○建設)
 ※

・令和4年度から 様式6-1を(1)と(2)に分割し、様式-5と様式6-1を一つのシートにしています。

・R4年度から、3名→1名の記載欄に変更しています。

技術者の追加配置

氏 名	○○ ○○
生 年 月 日	年 月 日生
資 格 種 類	
取得年月日	年 月 日
登録番号	

・資格に技術士は含みません。
 ・土木施工管理技士（一級、二級）
 ・建設機械施工管理技士（一級、二級）

・資格証の写しを提出する。

(用紙寸法 日本工業規格A4)

様式-6-1(2) ※事前登録済の会社(構成員)は提出不要【事前登録票は提出必要】

担い手の育成・確保 調書(1-2)

工事

会社(構成員)

・令和4年度から様式6-1を(1)と(2)に分割しています。

社 ○○建設

※共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

技術職員の育成・確保

事前登録項目

済みの会社(構成員)は変更がある場合記載

①若年技術職員の育成・確保

ア

- ・技術者の35歳未満の割合が15%以上
- ・35歳未満の新規技術者の割合が1%以上

(該当) (非該当)

若年技術職員の継続的な育成及び確保	非該当
新規若年技術職員の育成及び確保	非該当

書(総合評価値通知書)(以下、「直近の

上記通知書の記載力所

- ・技術者の35歳未満の割合が15%以上 = 「若年技術職員の継続的な育成及び確保」欄で確認する。
- ・35歳未満の新規技術者の割合が1%以上 = 「新規若年技術職員の育成及び確保」欄で確認する。

・②技術職員の総数の増減がわかるように、「直近」および「直近の前」の2回分の「経営規模等評価結果通知書の写し」を提出してください。

例：直近：① 67人

① 直近の計：67人

・直近の計：67人
直近の前の計：70人
の場合

②技術職員総数の確保

・技術職員の総数の増減状況について、下記の①～④のいずれかの項目を一つ選択し、番号を記載する。併せて下欄ア～オに該当する数値を記入する。

- ① 同数以上
- ② 減少数1～2人 または 減少率4%以下
- ③ 減少数3人 または 減少率6%以下
- ④ その他(上記非該当)

評価項目番号	②
--------	---

ア 直近の経営規模等評価結果通知書(総合評価値通知書)に記載されている技術職員の総数	67	人
イ 直近の前の経営規模等評価結果通知書(総合評価値通知書)に記載されている技術職員の総数	70	人
ウ 増減数	-3	人
エ 減少数 ※ウがマイナス(減少)の場合のみ記入する。	3	人
オ 減少率(エ/イ) ※ウがマイナス(減少)の場合のみ記入する。	4	%

・減少数：3人→③
・減少率：4%→②
評価点の高い②を選択

※パーセントの小数点以下を切り捨て、整数値とする。

① 主1 当該工事公告日時点で直近の前の経営規模等評価結果通知書(総合評価値通知書)(以下、「直近の前の通

47	(43)	0	1	18	1
----	------	---	---	----	---

・①の拡大
直近の計：67人

3 ウ(増減数)がマイナス(減少)の場合、エ(減少数)とオ(減少率)を比較し、評価点が最も大きくなる番号を記載すること。

様式一 6-2

※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】

担い手の育成・確保 調書（2）

工 事 名： (2601)経営体 ○○地区 ○工区

会社（構成員）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体（株式会社

・過去5年間（「暦年」ではなく「年度」）
（H30.4.1～R5.3.31）

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること

事前登録項目

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

新規の雇用実績の有無

（あり ・ なし）

※ 過去5年間（平成30年4月1日から令和5年3月31日）において、学校教育法に定める高校、高専、大学、大学院、専修学校等や職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設を卒業した者の雇用。また、過去5年間において、建設業の許可を受けている企業に従事していた離職者の雇用がある場合は、下欄に雇用者の氏名等を記入するとともに、雇用関係の判断できる資料を併せて提出する。
（いずれも、採用時点において満35歳未満の者とする）

会 社 名			
氏 名	採用年月日	年 月 日採用	
生 年 月 日	年 月 日生	採用時の年齢	才
学卒者の雇用の場合	卒業学校名		
	卒業年月日	年 月 日卒業	
	【提出資料】		
	①卒業証書又は卒業証明書の写し ②雇用契約書の写しなど雇用契約の内容がわかる書類 ③健康保険加入者：健康保険厚生年金被保険者資格取得確認通知書の写し +健康保険厚生年金被保険者標準報酬決定通知書の写し ④健康保険未加入者：雇用保険被保険者資格取得等確認通知書の写し +源泉徴収簿の写し ⑤3ヶ月を超える継続雇用関係がわかる書面（賃金台帳の写しなど）		
離職者の雇用の場合	前 会 社 名		
	【提出資料】		
	①解雇通知書又は離職証明書の写し ②雇用契約書の写しなど雇用契約の内容がわかる書類 ③健康保険加入者：健康保険厚生年金被保険者資格取得確認通知書の写し +健康保険厚生年金被保険者標準報酬決定通知書の写し ④健康保険未加入者：雇用保険被保険者資格取得等確認通知書の写し +源泉徴収簿の写し ⑤3ヶ月を超える継続雇用関係がわかる書面（賃金台帳の写しなど）		
注 3ヶ月を超える継続雇用とは、基準日（令和5年度においては、令和5年4月1日時点）において、3ヶ月を超える雇用があることが必要のため、令和5年1月～3月の雇用ならびに基準日において雇用を継続していることを証する書類が必要となるので添付する書類に留意すること。			

・前会社の雇用が分かる資料を必ず提出してください。

- ・ ①卒業年月日、離職年月日の確認のため
- ・ ②雇用期間の定めのない雇用契約労働者の確認のため
- ・ ③④の資格取得確認通知書の写し：雇用契約日確認のため
- ・ ⑤の3ヶ月を超える継続雇用：

R5.4.1時点で3ヶ月を超える継続雇用を確認するため

・賃金台帳だけの場合は、最低でもR5.1月～4月以降の記載が必要

4月の出勤日数、賃金計算期間の記載が必要

・賃金台帳+出勤簿の場合（賃金台帳が3月までしか提出できない）

4月1日以降の出勤がわかるもの（タイムカードの写し可）

・健康保険被保険者証

公布日がR5.4.1かつ資格取得年月日がR4.3.31以前のもの

・賃金台帳4月分の記載があっても、賃金対象期間が3月31日までのものは4月1日の証明にはならない。

・賃金対象期間の記載がなければ、4月分を含む出勤簿、または5月分の記載のある賃金台帳の写しを提出してください。

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

労働環境改善

雇用環境への取組

事前登録項目

（あり・なし）

下記の①～③のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載する。評価項目番号が①の場合、下欄に表彰年月日を記入する。

- ① 建設雇用優良事業所表彰
- ② 令和5・6年度北海道建設工事等競争入札参加資格審査における「通年雇用」で評価
- ③ 奨学金返還支援

・番号をプルダウンする。

評価項目 番号
①

当該年度:5年度

表彰年月日

年月日

注1 「建設雇用優良事業所表彰」による評価の場合は、表彰を証明する資料（表彰状等の写し）を提出すること。
 2 「奨学金返還支援」による評価の場合は、当該年度において企業の支援があることを確認できる資料を提出すること。
 ・奨学金返還の支援（代理返還）を行っている、又は行う規定を設けていることが確認できる書類等（企業のホームページへの掲載、求人票、社内規定等）の写し
 ・道内市町村の奨学金返還制度の認定（登録）企業となっていることが確認できる書類等（市町村のホームページへの掲載、市町村が発行する証明書（認定書、登録書）の写し
 ・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のホームページの「企業の奨学金返還支援（代理返還）制度」に記載されていることが確認できる書類（HPの当該箇所等）の写し。

①③の場合、確認資料の提出が必要

仕事と家庭の両立支援の取組

事前登録項目

（あり・なし）

下記の①～③いずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載する。併せて下欄に認定期間または計画期間の終了年月日を記入する。

- ① 「北海道働き方改革推進企業認定」の「仕事と子育て・介護等の両立」の取組
- ② 「北海道あったかファミリー応援企業」の認定
- ③ 次世代育成支援対策推進法に規定する「一般事業主行動計画」の策定

・番号をプルダウンする。

評価項目 番号
①

確認資料の提出が必要

認定期間または計画期間の終了年月日

令和5年11月30日

注1 「北海道働き方改革推進企業認定」、「北海道あったかファミリー応援企業」による評価の場合は、認定証の写しを提出すること。
 2 次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」による評価の場合は、策定届（変更届）の写しを提出すること。

・認定期間または計画期間の終了日が公告日以降の場合に評価する。

（用紙寸法 日本工業規格A4）

※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】

担い手の育成・確保 調書（3）

工 事 名： (2601)経営体 ○○地区 ○工区

会社（構成員）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体（株式会社 ○○建設）

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

事前登録項目

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

高年齢者継続雇用の取組

(あり・なし)

※ 高年齢者については、令和4年4月1日時点で満65歳上の者（昭和32年4月1日以前に生まれた者）で令和4年4月1日以前に雇用し、令和5年4月1日時点で、継続して雇用している者とする。

・番号をプルダウンする。

下記の①②いずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載し、評価項目番号

②の場合は、下欄に雇用実績内容を記載する。

①令和5・6年度北海道建設工事等競争入札参加資格審査における「高年齢者継続雇用対策」で評価

②高齢者を継続雇用している実績

評価項目番号
②

雇用年月日	平成30年4月1日
被雇用者氏名	○○○○
被雇用者年齢	満66歳（令和4年4月1日時点）
被雇用者生年月日	昭和31年8月10日
勤務先名称	(株)○○組
勤務先の所在地 (都道府県・市町村名のみ)	○○市

・②を選択した場合、実績を記載する。
※①の場合は記載不要

- 注1 入札参加者は、継続雇用がわかる下記のいずれかの書類を提出すること。
- 健康保険被保険者証の写し及び雇用保険被保険者資格取得確認通知書の写し。
 - 雇用保険被保険者資格取得確認通知書の写し及び出勤簿や賃金台帳等の雇用していることを証明する書類の写し。
 - 雇用保険被保険者資格取得確認通知書の写し及び雇用保険被保険者資格喪失確認通知書の写し。
- 注2 複数人該当する場合は、いずれか1名の記入及び添付資料を提出すること。

<提出資料の目的>

※R4.4.1～R5.4.1の継続した雇用がわかる資料の提出が必要

①～③雇用保険被保険者資格取得確認通知書の写し：

雇用年月日と雇用形態の確認

(被保険者種類が3の時は「期間の定めがある雇用」)

①健康保険被保険者証の写し：

交付年月日が「R5.4.1以降」のもの以外は、R5.4.1時点での雇用が

確認できないことから、②の資料の提出が必要

交付年月日が「R5.4.1以降」のものは、資格取得年月日がR4.4.1以前であれば

②の資料の提出は不要

②出勤簿、賃金台帳：

「R4.4.1～R5.4.1以降」の記載があることで継続雇用を確認する。

(中抜けは継続雇用とはみなさない)

※賃金台帳（給与台帳等）はR5.4.1日を含む賃金計算期間の記載

が必要。

賃金台帳が4月分でも勤務対象期間が3月31日までの場合は「4月1日」が不明確となるため、4月分の出勤簿または5月分の記載がある賃金台帳の写しが必要

(高年齢者継続雇用の評価の考え方)

【考え方】	R4.4.1	R5.4.1	【評価の判断】
	令和3年度	<令和4年度>	
ケース1		★ 雇用(4月1日)	○ R4.4.1～R5.4.1継続雇用であるため
ケース2		★ 雇用	× R4.4.1から雇用してないため不可
ケース3		★ 雇用	× R4.4.1から雇用してないため不可
ケース4	★ 雇用	☆ 退職	× R5.4.1時点で雇用してないため不可
ケース5	★ 雇用	☆ 退職	× 継続して雇用してないため不可
ケース6		★ 雇用	○ R4.4.1～R5.4.1継続雇用であるため

継続した雇用の確認が必要

事前登録項目

※ 事前登録済みの会社（構成員）は**変更がある場合記載**

女性の活躍支援の取組 (あり ・ なし)

下記の①～④のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載する。評価項目番号が②～④の場合は、併せて下欄に認定期間または計画期間の終了年月日を記入する。

① 令和5・6年度北海道建設工事等競争入札参加資格審査における「女性の活躍支援」で評価 ② 「北海道働き方改革推進企業認定」の「女性」の取組 ③ 「なでしこ応援企業認定企業」の認定 ④ 女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">評価項目 番号</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>	評価項目 番号	②
評価項目 番号			
②			

・番号をプルダウンする。

認定期間または計画期間の終了年月日 令和5年11月30日

注1 「北海道働き方改革推進企業認定」、「なでしこ応援企業認定企業」による評価の場合は、認定証の写しを提出すること。
 2 女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」による評価の場合は、策定届（変更届）の写しを提出すること。

・認定期間または計画期間の終了日が公告日以降の場合に評価する。
 ・更新した場合は速やかに変更申請してください。

②③④の場合は
確認資料の提出が必要

令和5年度ガイドライン用

様式－ 6 － 4

※事前登録済の会社（構成員）は**提出不要【事前登録票は提出必要】**

地域の守り手確保 調書（1）

工 事 名： (2601) 経営体 ○○地区 ○工区
 会社（構成員）名： ○○・□□ 経常建設共同企業体（株式会社 ○○建設）

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

事前登録項目

※ 事前登録済みの会社（構成員）は**変更がある場合記載**

主たる営業所の所在地 1	住 所	
主たる営業所の所在地 2	営業所名 住 所	

注1 主たる営業所とは、次のいずれかに該当するものをいう。
 a 建設業許可申請書別表（建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）様式1号別表）の「主たる営業所」の欄に記載されているもの。
 b 会社法第27条の本店で、かつ、建設業法第3条の許可を有している営業所。
 2 確認できる資料を提出する。

・事前登録申請の際、建設業許可通知書に有効期間があるので、変更となった場合は変更申請が必要となる。

・確認資料の提出が必要

事前登録項目

会社（構成員）は**変更がある場合記載**

農業農村の有する多面的機能の維持増進活動の実績 (あり ・ なし)

※ 上川総合振興局産業振興部調整課の確認書の交付を受け、内容を記入し、併せて確認書の公布日及び文書番号を記載する。

実施時期	年 月	年 月	年 月 日	内容
------	-----	-----	-------	----

注 記載内容が確認できる資料を提出する。

※ 評価対象地域は、上川管内のみ
 ※ 評価対象期間は、過去3カ年度
 （令和5年度の場合：
 令和2年4月1日から令和5年3月31日までの期間に活動した実績）
 ※ 継続した活動とは、前年度（4年度）の活動を含んでいること

・事前登録申請の場合、調整課発行の確認書の添付は不要。

・上川総合振興局調整課の確認書の交付を受けていない場合、当局調整課HP掲載の「農業農村整備事業の簡易総合評価方式入札における地域貢献度の評価について」に準じて内容を証明する資料を提出する。

令和5年度の場合(例)

ケース	R2	R3	R4	配点	
1	○	○	○	1.00	過去3カ年度継続した活動
2		○	○	0.75	過去2カ年度継続した活動
3	○	○		0.50	継続していない複数年度の活動
	○		○		
4			○	0.25	単年度の活動
	○				

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

緊急時の応急措置の実績の有無	事前登録項目	（あり ・ なし）
※ 活動実績がある場合は、下欄にその内容の概略を記入するとともに、活動内容及び活動時期が客観的に判断できる資料を併せて提出する。		
緊急時の応急措置場所	応急措置実施日	年 月 日
緊急時の応急措置内容	（応急措置の概略を記入）	

・過去5年間（「暦年」ではなく「年度」）
（H30.4.1～R5.3.31）

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

多様な雇用への貢献	事前登録項目	（あり ・ なし）		
※ 下記の①～③のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号が②または③の場合、併せて下欄に証明年月日または表彰年月日を記入する。				
① 令和5・6年度北海道建設工事等競争入札参加資格審査において「障がい者の就労支援」を評価	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>評価項目番号</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">②</td></tr> </table>	評価項目番号	②	・番号をプルダウンする。 ・②③の場合は確認資料の提出が必要
評価項目番号				
②				
② 「協力雇用主」は、保護観察所に協力雇用主として登録している企業を評価 ・登録先の保護観察所が発行する証明書の写しを提出し、下欄に証明年月日を記入する。				
③ 新分野進出優良建設企業表彰の実績がある場合は、下欄に表彰年月日を記入する。 ・表彰を証明する資料（表彰状等の写し）を提出する。				
証明または表彰年月日	R5. 4. 6			

・②の証明期間は「公告日から過去2年間以内」
③の表彰年月日は「H30.4.1～H31.3.31」
の場合に評価する。

（用紙寸法 日本工業規格A4）

令和5年度ガイドライン用

様式－6－5（1） **※事前登録済の会社（構成員）は提出不要【事前登録票は提出必要】**

地域の守り手確保 調書（2－1）

工 事
会社（構成員）名： ○○建設株式会社

・令和4年度から 様式6－5を(1)と(2)に分割しています。

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

※ 事前登録済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

環境対策の認定制度等の有無	事前登録項目	（あり ・ なし）		
下記の①～④のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載する。併せて下欄に認定（登録）年月日及び期間の終了年月日を記入する。				
① ISO14001	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>評価項目番号</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">②</td></tr> </table>	評価項目番号	②	・番号をプルダウンする。 ・期間の終了年月日が公告日以降の場合に評価する。
評価項目番号				
②				
② 北海道グリーン・ビズ認定制度「優良な取組」部門				
③ HES				
④ EA21				
認定（登録）年月日	年 月 日	期間の終了日	年 月 日	
注 認定（登録）証の写しを提出すること。		確認資料の提出が必要		

事前登録項目

の会社（構成員）は変更がある場合記載

季節労働者等の雇用実績の有無	(あり ・ なし)		
※ 雇用実績がある場合は、下欄に工事の施工場所及び工期を記入する。			
施工場所	工期	年 月 日～	年 月 日
注1 雇用労働者就労状況報告書の写しを併せて提出する。 2 申請者は評価が最も高く、記載される実績を1つ選択し記載すること。 3 共同企業体の実績の場合、記載がわからず、共同企業体として雇用実績が評価される。			

・過去5年間
（「暦年」ではなく「年度」）
（H30.4.1～R5.3.31）

当該工事の施工場所（市町村）の隣接市町村には出張所管内の区分はありません。
 例：施工場所：上富良野町（南部耕地出張所管内）
 実績：美瑛町（中部整備室管内）
 評価：隣接市町村の実績あり

共同企業体の実績の場合、自社の有無にかかわらず、共同企業体として雇用実績があれば評価する。

雇用労働者就労状況報告書					
工事名	地区 工区	受注者氏名			
請負代金額	千円	施工場所	工期	R2・	～R3・
「雇用労働者等状況報告書」を提出しても、季節労働者と農業者の合計人数が「0人」の場合は評価は「なし」となる。		左	常用労働者	実人員	延人員
		の		人	人
		内	季節労働者	実人員	人
季節労働者等とは・季節労働者		の	(うち冬期雇用者)	(人)	(人)
		人	の他	実人員	(人)
(うち農業者)		の	(うち農業者)	(人)	(人)
		人	(うち農業者)	(人)	(人)

事前登録項目

経済みの会社（構成員）は変更がある場合記載

労働安全衛生活動の有無	(あり ・ なし)		
下記の①～③のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、番号を記載する。併せて下欄に認定（登録）年月日及び期間の終了年月日を記入する。			
① 建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）	・番号をプルダウンする。		
② ISO45001	・①②の場合、期間の終了年月日が公告日以降の場合に評価する。		
③ 労働安全コンサルタントの活用			
認定（登録）年月日	年 月 日	期間の終了日	年 月 日
開始日	年 月 日	終了日	年 月 日
注1 ①②の場合は認定（登録）を証明する資料の写しを提出する。 2 ③の場合、学習内容が客観的に判断できる資料を併せて提出する。		確認資料の提出が必要	

(用紙寸法 日本工業規格A4)

季節労働者等雇用実績に

事前登録項目

事前登録申請書

会社（構成員）名： 株式会社 ○○建設

※ 共同企業体で申請する場合は、構成員ごとに作成し提出すること。

市町村名	和寒町	剣淵町	士別市	下川町	名寄市	美深町
施工年度			R2			
事業名			経営体			
地区名			○○地区			
工区名			○工区			
契約企業名	季節労働者等とは ・季節労働者 ・農業者 (実人数の合計)		(株)○○建設	R4年度はH29工事は該 当となったが、R5年 度は対象外のため、 空欄となる・		
工期			R2. 4. 21 ～ R3. 3. 10			～
季節労働者等人数			8 人			

市町村名	音威子府村	中川町	幌加内町	鷹栖町	旭川市	比布町
施工年度					R1	
事業名					水利施設	
地区名					△△地区	
工区名					△工区	
契約企業名					○○・△JV	
工期					H3. 4. 1	
季節労働者等人数						

市町村名	愛別町	上川町	当麻町	東川町		
施工年度						
事業名						
地区名						
工区名						
契約企業名						
工期						
季節労働者等人数						

市町村名	上富良野町	中富良野町
施工年度	R3	
事業名	経営体	
地区名	●●地区	
工区名	△工区	
契約企業名	(株)○○建設	
工期	R3. 3. 30 ～ R3. 12. 20	
季節労働者等人数	21 人	

注1 上川総合振興局産業振興部調整課発注工事の過去5年間（H30.4.1～R5.3.31）で季節労働者等の雇用した実績を記入すること。

2 「契約企業名」欄は、受注実績が共同企業体の構成員としてのものである。

3 「季節労働者等人数」欄は、季節労働者及び農業者の実人数の合計を記載すること。

4 雇用労働者就労状況報告書の写しを提出すること。

5 申請者は評価が最も高くなると予想される実績を1つ選択し記載すること。

6 共同企業体の実績の場合、自社の有無にかかわらず、共同企業体として雇用実績があれば評価する。

・過去5年間（「暦年」ではなく「年度」）
（H30.4.1～R5.3.31）

・「地域精通度」の記載工事と同じ場合が多いが、季節労働者等雇用実績がない場合は異なる。ただし、「地域精通度」より以前の年度となる。
例：「地域精通度」

R4年度工事（上富良野町、中富良野町）
季節労働者等雇用実績：なし

R3年度工事
上富良野町
季節労働者等雇用実績：あり

中富良野町H30～R4の工事：なし
→空欄となる。

- ・上川総合振興局調整課発注工事に限る
（開発局・建設管理部・市町村発注工事～NG）
- ・最終請負金額：条件なし
- ・JVの場合：出資比率20%以上の場合のものに限る

・「H31」は「R1」と記載してください。

・経常建設共同企業体の場合は「JV」としてください。

共同企業体の実績の場合、自社の有無にかかわらず、共同企業体として雇用実績があれば

様式- 6 - 5 (2)

・令和4年度から 様式6-5を(1)と(2)に分割し、様式6-5(2)と様式7を1つのシートにしています。

地域の守り手確保 調書 (2-2)

工 事 名 : (2601) 経営体 ○○地区 ○工区
 会 社 (企業体) 名 : ○○・□□ 經常建設共同企業体

・単社もJVも、1枚。
 (JVの場合も「1企業体」として1枚)

※ 共同企業体で申請する場合は、代表の構成員が作成し提出すること。

地域企業の活用 <適用2> 地域内企業の活用計画の有無	(あり・なし)
下記の①~②のいずれかの項目のうち、評価「あり」とした項目を一つ選択し、評価点の高い番号を記載する。また、下欄にその時の会社の所在地を記入する。	
① 地域内企業の元請施工	評価項目 番号
② 地域内企業を一次下請で1社以上活用(5百万円以上)する計画	
元請会社または一次下請会社の所在地(市町村)	
注1 共同企業体で申請する場合は、元請会社または一次下請会社が複数ある場合は、評価が最も高くなる会社の所在地を記入すること。	
2 下請契約を締結した時の見積書・発注書・台帳等の写しを工事監督員に提出する。	

・番号をプルダウンする。

・①の場合も記載すること。

・②の場合のみ、履行確認が必要となります。

・「あり」を選択した場合は、元請施工か一次下請け活用計画のどちらかを選択する。

※ H31ガイドラインから「地域内企業の活用計画」が次のとおり変更となりました。

項目	旧	新
評価対象	・設定した地域内に主たる営業所がある企業を一次下請(5百万円以上)で活用する計画を評価対象とする。	・地域内企業を一次下請(5百万円以上)で活用する計画を評価対象とする。 ・地域内企業の元請施工を評価対象とする。 ・地域内企業とは、当該(総合)振興局が設定した地域内に「主たる営業所」が存する企業とする。
評価基準	・受注者が下請を活用せず施工する場合は、「下請活用計画の企業所在地」を「受注者の所在地」に置き換えて評価する。	・元請施工会社・一次下請会社の所在地により評価する。

・ H30年までのガイドラインでは、「地域内企業が地域内の工事を”下請けを活用せずすべて自社施工”」の場合も評価の対象となっていました。評価基準が明確ではなかったため、修正されました。

・ H31年のガイドラインからは「下請を活用せず施工」の文言が削除され、「地域内企業が元請として地域内の工事を施工する場合」も評価対象となりました。

(例：旭川市内の工事を旭川市の地元企業が富良野市の下請け業者を使いながら、元請施工する場合も評価されます。)

・ なお、「地域内企業を下請けとして5百万円以上活用」の基準には、変更はありません。

・ 下請け業者を利用しても元請会社が該当地域内の場合には選択可能です。

様式一 7

・令和4年度から 様式6-5を(1)と(2)に分割し、様式6-5(2)と様式7を1つのシートにしています。

地域経済活性化評価（計画）調書

工 事 名：(2601)経営体 ○○地区 ○工区
会 社（企業体）名：○○・□□ 経常建設共同企業体

・単社もJVも、1枚。
(JVの場合も「1企業体」として1枚)

※ 共同企業体で申請する場合は、代表の構成員が作成し提出すること。

・「あり」の場合、履行確認が必要となります。

資材等調達の有無	(あり・なし)
調達先市町村名	
地域経済活性化率	(%)

・工事を行う市町村のみが評価対象なので注意のこと

(隣接市町村は評価対象外)

注

地域経済活性化率は、次式により算出する。

$$\text{地域経済活性化率} = \frac{\text{調達予定金額 (円)}}{\text{工事予定入札額 (円)}} \times 100 (\%)$$

※ 調達先市町村は、工事場所と同じ市町村に限る

※ 契約相手方は、施工計画書の提出時に、資材調達予定内訳（品目、規格・寸法、数量、金額）を書面（様式任意）提出すること。

(用紙寸法 日本工業規格A4)

評価点事後審査方式 自己採点申請書

工 事 名 : (2601) 経営体 ○○地区 ○工区
 会 社 (企業体) 名 : ○○・□□ 経常建設共同企業体

・入札参加申請時には提出必要
 ・入札時に提出する「技術評価項目申請書」の様式としては提出不要

「同種工事の経験」及び「配置経験」の同種工事の扱いはP3及びP7を確認してください。

令和4年度から特例措置が解除されています。

令和5年度から選択項目の一部となりました。

共同企業体で申請する場合は、共同企業体としての自己採点申請書を作成し提出すること。【構成員ごとの提出は不要】。

評価項目	企業の能力					配置予定技術者				職員の育成・確保					地域の守り手確保				減点項目 賠償請求 重大な契約不適合に伴う	技術得点 技術評価項目の不履行									
	工事成績※	優秀業者表彰※	ISOの取得※	同種工事の経験※	地域精通度※	資格	継続教育	優秀技術者表彰	配置経験	技術者の追加配置	選択項目 ※(Max : 2.00)					地域の安全安心		地域社会貢献			地域経済への波及								
											新規の雇用※	雇用環境への取組み※	仕事と家庭の両立支援※	高齢者継続雇用※	女性の活躍支援※	主たる営業所※	維持増進活動※	選択項目 ※(Max : 2.00)				緊急時の応急措置※	多様な雇用への取組み※	環境対策※	労働安全活動※	地域企業活用	地域活性化		
																		季節労働者雇用※			緊急性							多様性	環境
得点																													

配置予定技術者が特定できない場合は、各評価項目の記載方法に注意が必要。(過大評価となる場合があり、P7の「自己採点申請書の評価」を参照)

令和4年度に基準内容に変更があり、「0.10」が追加されています。

令和4年度から事前登録項目としています。

「同種工事経験」の基準となる「同規模」はこの欄の「下線部」の工事量です。

「選択項目はMax : 2.00」なので、注意してください。

「選択項目はMax : 2.00」ですが、「地域企業活用」及び「地域活性化」を優先して(履行確認があるため)評価しますので、注意してください。

「同種工事経験」の「同種工事」はこの欄の規模の記載のある工事工種ですが、「同規模」はこの欄の工事量ではありません。

評価項目の「※」は事前登録項目を示している。

共同企業体		共同企業体		共同企業体		共同企業体		共同企業体	
共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体	共同企業体
1	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区	○○地区
工事の概要		工事の概要		工事の概要		工事の概要		工事の概要	
区画整理(水田)		区画整理(水田)		区画整理(水田)		区画整理(水田)		区画整理(水田)	

薄青色のセルに入力（選択）してください。

評価点事前登録 自己採点申請書

事前登録申請書

会社（構成員）名： 株式会社 OO建設

「新規雇用」「高齢者継続雇用」は同じ人でも確認時点が異なるため、R4→R5の変更では変更となります。
（確認資料必要）

「高齢者継続雇用実績②」は同じ人でも確認時点が異なるため、R4→R5の変更では変更となります。
（確認資料必要）

今回の得点が「0.00」で、前回申請では得点があった場合、変更となるため、「○」を記載する。

薄青色部の各評価項目の得点を選択してください。

R5年度から選択項目の1項目となりました。選択項目のMAXは2.00に変更。

JV申請の場合は各構成員の平均点の単純平均した点の評価値を選択すること。

得点が同じでも、申請内容（該当年度）を変更した場合は「○」を記載する。

前回申請で経験が「ある」場合で、今回、「ない」場合は、変更するため、「○」を記載する。

「新規雇用」は同じ人でも確認時点が異なるため、R4→R5の変更では変更となります。
（確認資料必要）

前回申請の実績が「該当なし」の場合で、今回も「該当なし」場合は、「空欄」とする。

「変更なし」と「該当なし」の区別をつけました。変更なし：- 該当なし：（空欄）

今回の変更申請で変更項目は「今回変更の有無」欄に「○」を記載してください。

「季節労働者雇用」の得点は、事前登録時を含みません。

前回申請で経験が「ない」場合で、今回も「ない」場合は、「空欄」とする。

前回申請で「実績あり」の場合で、今回、「実績なし」の場合は、変更となるため、「○」を記載する。
※別紙（季節労働者等雇用）【事前登録】参照

R4年度から「季節労働者等雇用実績」用に「C表」欄を追加しました。

【※】は事前登録項目を示しています。【黒セル入力不要】
でも、工事場所で変動する項目の得点は、「斜線」表示としています。（同種工事の経験、地域精通度、主たる営業所、季節労働者等雇用）
点に季節労働者等人数の得点は含んでいない。
は、「構成各社毎」及び「共同企業体全体」の2種類を作成してください
目を「今回変更の有無」欄に「○」等を記載してください。

地域精通度は変更（R4）となったが、季節労働者等雇用実績がないため、季節労働者等雇用欄は、前回（実績あり）から「変更なし」となり「-」を記載する。

評価項目	事績成績※	秀業者表彰※	施工能力										配置予定技術者					地域の安全					減点項目			技術 得点									
			IS		同種	地域	資格	継続	優秀	配置	技術者の追加配置	新規の雇用※	雇環境への取	仕事と家庭の両	高齢者継続雇	女性の活躍支援	主たる営業所※	維持増進	多様な雇用への取	環境対策※	季節労働者雇用※	労働者全活動※	地域活用	害重	技術										
得点	6.50										0.10	0.50	0.00	0.50	0.50	0.00			0.50	0.00	0.50						0.00					11.35			
今回変更の有無 （有：○、無：-、該当なし：空欄）	○										○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	C表														
今回変更の有無 （有：○、無：-、該当なし：空欄）	A表 （同種工事の経験）			水田					畑地					用水路	排水路	道路	営農用水	畑かん	C表																
				整地	暗渠排水	客土		整地	暗渠排水	客土	除磓																								
				-	-	○		○	○	○	-	○	-	-	-	-	○																		
			B表 （地域精通度）					中部管内					南部管内																						
			和寒町	剣淵町	士別市	下川町	名寄市	美深町	音威子府村	中川町	幌加内町	鷹栖町	旭川市	比布町	愛別町	上川町	当麻町	東川町	東神楽町	美瑛町	上富良野町	中富良野町	富良野市	南富良野市											
					-	-															○	○													
			C表 （季節労働者等雇用）					中部管内					南部管内																						
			和寒町	剣淵町	士別市	下川町	名寄市	美深町	音威子府村	中川町	幌加内町	鷹栖町	旭川市	比布町	愛別町	上川町	当麻町	東川町	東神楽町	美瑛町	上富良野町	中富良野町	富良野市	南富良野市											
					-		○																												

<参考資料1>

「同種工事」と「同規模」の考え方

令和5年度ガイドライン用

入札の公告（別紙）		（入札参加申請時の条件）		落札者決定基準による技術得点評価時の条件																			
入札に付する事項		入札に参加する者に必要な資格		企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」		配置予定技術者の「配置経験」																	
<p>工事の概要</p>		<p>本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事</p>		<p>工事実績 経営体△△地区62工区 整地工A=8.8ha 暗渠排水工A=43.5ha 客土A=7.3ha 用水路工L=1,737m (L=837m (VUφ300)、L=900m (V40)) 排水路工L=1,297m (L=447m (φ450)、L=850m (V60))</p>		<p>※基本的に事業名で「水田」と「畑」を判断する。 経営体：水田 畑地帯：畑 中山間：地区ごと</p>																	
<ul style="list-style-type: none"> 「水田」と「畑」の区分は基本的に事業名で判断する。 経営体：水田 畑地帯：畑 中山間：地区ごと 「主たる工種」の「区画整理（〇〇）」は工事の概要の「整地工」と同等。 		<ul style="list-style-type: none"> 「水田」と「畑」の区分は基本的に事業名で判断する。 経営体：水田 畑地帯：畑 中山間：地区ごと 「区画整理整地（〇〇）」とは「主たる工種」の「区画整理（〇〇）」と同等。 「用水路」及び「水路」の「（現場打又は装工又は管水路）」とは「主たる工種」での「用水路」及び「排水路」の「（現場打ちコン）」「（二次製品）」「（管水路）」と同等。 		<table border="1"> <tr> <td>評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規模（工事量）</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある工事量のうち、下線部の工事量</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種の工事量</td> </tr> </table>		評価基準	同種工事工種	「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種		規模（工事量）	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある工事量のうち、下線部の工事量	実績	工種・規模	「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種の工事量	<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種</td> </tr> <tr> <td>同種工事</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種</td> </tr> </table>		主たる工種	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種	同種工事	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種	実績	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種	
評価基準	同種工事工種	「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種																					
	規模（工事量）	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある工事量のうち、下線部の工事量																					
実績	工種・規模	「入札の公告（別紙）」の「本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事」欄の規模の記載のある工種の工事量																					
主たる工種	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種																						
同種工事	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種																						
実績	「入札の公告（別紙）」の「工事の概要」欄にある「主たる工種」欄の工事工種及びその上位互換のある工事工種																						
<p>制限付 一般競争 1</p>	<p>経営体 ○〇地区 ○工区 整地工（標準切盛）A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)</p>	<p>「区画整理整地（水田）」工事A=5ha以上の元請け実績及び「暗渠排水（水田）」工事の元請け実績</p>		<table border="1"> <tr> <td>評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>区画整理整地（水田）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規模（工事量）</td> <td>10.2ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>整地工（水田） A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模の1/2以上（5ha）：0.75</td> </tr> </table>		評価基準	同種工事工種	区画整理整地（水田）		規模（工事量）	10.2ha	実績	工種・規模	整地工（水田） A=8.8ha	評価	当該工事規模の1/2以上（5ha）：0.75		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>区画整理（水田）</td> </tr> <tr> <td>評価基準（同種工事工種）</td> <td>整地工（水田）</td> </tr> </table>		主たる工種	区画整理（水田）	評価基準（同種工事工種）	整地工（水田）
評価基準	同種工事工種	区画整理整地（水田）																					
	規模（工事量）	10.2ha																					
実績	工種・規模	整地工（水田） A=8.8ha																					
評価	当該工事規模の1/2以上（5ha）：0.75																						
主たる工種	区画整理（水田）																						
評価基準（同種工事工種）	整地工（水田）																						
<p>主たる工種 区画整理（水田）</p>		<p>過去15カ年</p>																					

入札に付する事項		入札に参加する者に必要な資格	企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」	配置予定技術者の「配置経験」																	
制限付 一般競争 2	経営体 ○○地区 ○工区 整地工(標準切盛) A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)	「暗渠排水(水田)」工事A=6ha以上の元請け実績及び「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>12.2ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>暗渠排水(水田) A=43.5ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模以上 : 1.00</td> </tr> </table>	評価基準	同種工事工種	暗渠排水(水田)	規模(工事量)	12.2ha	実績	工種・規模	暗渠排水(水田) A=43.5ha	評価	当該工事規模以上 : 1.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>整地工(水田)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> </table>	主たる工種	暗渠排水(水田)	評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)	暗渠排水(水田)	
	評価基準				同種工事工種	暗渠排水(水田)															
				規模(工事量)	12.2ha																
実績	工種・規模	暗渠排水(水田) A=43.5ha																			
評価	当該工事規模以上 : 1.00																				
主たる工種	暗渠排水(水田)																				
評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)																				
	暗渠排水(水田)																				
主たる工種	暗渠排水(水田)	過去15カ年																			
主たる工種																					
制限付 一般競争 3	経営体 ○○地区 ○工区 整地工(標準切盛) A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)	「客土(水田)又は区画整理整地(水田)」工事A=4ha以上の元請け実績及び「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>客土(水田)又は区画整理整地(水田)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>8.4ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>整地工(水田) A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模以上 : 1.00</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「客土(水田)又は区画整理整地(水田)」なので、実績は評価点の高い「整地工(水田)A=8.8ha:1.00点(工事規模以上)」を申請する。<参考>「客土(水田)A=7.3ha:0.75点(工事規模の1/2以上)」</p>	評価基準	同種工事工種	客土(水田)又は区画整理整地(水田)	規模(工事量)	8.4ha	実績	工種・規模	整地工(水田) A=8.8ha	評価	当該工事規模以上 : 1.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>客土(水田)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>整地工(水田)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> <tr> <td>客土(水田)</td> </tr> </table>	主たる工種	客土(水田)	評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)	暗渠排水(水田)	客土(水田)
	評価基準				同種工事工種	客土(水田)又は区画整理整地(水田)															
				規模(工事量)	8.4ha																
実績	工種・規模	整地工(水田) A=8.8ha																			
評価	当該工事規模以上 : 1.00																				
主たる工種	客土(水田)																				
評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)																				
	暗渠排水(水田)																				
	客土(水田)																				
主たる工種	客土(水田)	過去15カ年																			
主たる工種																					
制限付 一般競争 4	経営体 ○○地区 ○工区 整地工(標準切盛) A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)	「用水路(現場打又は装工又は管水路)」工事L=570m以上の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>用水路(現場打又は装工又は管水路)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>L=1,156m</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>用水路(二次製品)L=900m</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模の1/2以上(578m) : 0.75</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「用水路(現場打又は装工又は管水路)」なので、実績は用水路(現場打ちコン)、用水路(二次製品)、用水路(管水路)のどれでもよいが、評価点の高い「用水路(二次製品)L=900m:0.75点(工事規模の1/2以上)」を申請する。<参考>「用水路(管水路)L=837m:0.75点(工事規模の1/2以上)」</p>	評価基準	同種工事工種	用水路(現場打又は装工又は管水路)	規模(工事量)	L=1,156m	実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m	評価	当該工事規模の1/2以上(578m) : 0.75		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>用水路(管水路)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>用水路(現場打ちコン)</td> </tr> <tr> <td>用水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td>用水路(管水路)</td> </tr> </table>	主たる工種	用水路(管水路)	評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)	用水路(二次製品)	用水路(管水路)
	評価基準				同種工事工種	用水路(現場打又は装工又は管水路)															
				規模(工事量)	L=1,156m																
実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m																			
評価	当該工事規模の1/2以上(578m) : 0.75																				
主たる工種	用水路(管水路)																				
評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)																				
	用水路(二次製品)																				
	用水路(管水路)																				
主たる工種	用水路(管水路)	過去15カ年																			
主たる工種																					

入札に付する事項		入札に参加する者に必要な資格	企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」	配置予定技術者の「配置経験」																				
制限付 一般競争 5	経営体 ○○地区 ○工区 整地工(標準切盛) A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)	「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事L=170m以上の元請け実績 過去15カ年	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>水路(現場打又は装工又は管水路)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>L=347m</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>用水路(二次製品)L=900m</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模以上 : 1.00</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「水路(現場打又は装工又は管水路)」なので、実績は用水路(現場打ちコン)、用水路(二次製品)、用水路(管水路)、排水路(現場打ちコン)、排水路(二次製品)、排水路(管水路)のどれでもよいが、評価点の高い「用水路(二次製品)L=900m:1.00点(工事規模以上)」を申請する。<参考>「排水路(二次製品)L=850m:1.00点(工事規模以上)」</p>	評価基準	同種工事工種	水路(現場打又は装工又は管水路)	規模(工事量)	L=347m	実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m	評価	当該工事規模以上 : 1.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>排水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>用水路(現場打ちコン)</td> </tr> <tr> <td>用水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td>用水路(管水路)</td> </tr> <tr> <td>排水路(現場打ちコン)</td> </tr> <tr> <td>排水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td>排水路(管水路)</td> </tr> </table>	主たる工種	排水路(二次製品)	評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)	用水路(二次製品)	用水路(管水路)	排水路(現場打ちコン)	排水路(二次製品)	排水路(管水路)
	評価基準				同種工事工種	水路(現場打又は装工又は管水路)																		
				規模(工事量)	L=347m																			
実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m																						
評価	当該工事規模以上 : 1.00																							
主たる工種	排水路(二次製品)																							
評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)																							
	用水路(二次製品)																							
	用水路(管水路)																							
	排水路(現場打ちコン)																							
	排水路(二次製品)																							
排水路(管水路)																								
主たる工種	排水路(二次製品)																							
制限付 一般競争 6	経営体 ○○地区 ○工区 整地工(標準切盛) A= 10.2ha 暗渠排水 A= 12.2ha 客土 A= 8.4ha 用水路 L=1,156m (VUφ150~φ350) 排水路 L= 963m (φ250~φ800) 排水路 L= 347m (V70)	「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事L=480m以上の元請け実績 過去15カ年	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>水路(現場打又は装工又は管水路)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>L=963m</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>用水路(二次製品)L=900m</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模の1/2以上(481m) : 0.75</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「水路(現場打又は装工又は管水路)」なので、実績は用水路(現場打ちコン)、用水路(二次製品)、用水路(管水路)、排水路(現場打ちコン)、排水路(二次製品)、排水路(管水路)のどれでもよいが、評価点の高い「用水路(二次製品)L=900m:0.75点(工事規模の1/2以上)」を申請する。<参考>「排水路(管水路)L=447m:0.50点(工事規模の1/2未満)」</p>	評価基準	同種工事工種	水路(現場打又は装工又は管水路)	規模(工事量)	L=963m	実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m	評価	当該工事規模の1/2以上(481m) : 0.75		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>排水路(管水路)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>用水路(現場打ちコン)</td> </tr> <tr> <td>用水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td>用水路(管水路)</td> </tr> <tr> <td>排水路(現場打ちコン)</td> </tr> <tr> <td>排水路(二次製品)</td> </tr> <tr> <td>排水路(管水路)</td> </tr> </table>	主たる工種	排水路(管水路)	評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)	用水路(二次製品)	用水路(管水路)	排水路(現場打ちコン)	排水路(二次製品)	排水路(管水路)
	評価基準				同種工事工種	水路(現場打又は装工又は管水路)																		
				規模(工事量)	L=963m																			
実績	工種・規模	用水路(二次製品)L=900m																						
評価	当該工事規模の1/2以上(481m) : 0.75																							
主たる工種	排水路(管水路)																							
評価基準 (同種工事工種)	用水路(現場打ちコン)																							
	用水路(二次製品)																							
	用水路(管水路)																							
	排水路(現場打ちコン)																							
	排水路(二次製品)																							
排水路(管水路)																								
主たる工種	排水路(管水路)																							
制限付 一般競争 7	畑地帯 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 25.7ha 暗渠排水 A= 11.3ha 客土 A= 8.6ha 排水路 L= 725m(V30~V60)	「区画整理整地(畑または水田)」工事A=12ha以上の元請け実績 過去15カ年	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>区画整理整地(畑または水田)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>25.7ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>整地工(水田) A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模の1/2未満(12ha) : 0.50</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「区画整理整地(畑または水田)」なので、実績は整地工(水田)A=8.8haは該当します。「暗渠排水(水田)A=43.5ha」「客土(水田)A=7.3ha」は同種工事工種でないため、該当しません。</p>	評価基準	同種工事工種	区画整理整地(畑または水田)	規模(工事量)	25.7ha	実績	工種・規模	整地工(水田) A=8.8ha	評価	当該工事規模の1/2未満(12ha) : 0.50		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>区画整理(畑)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>整地工(水田)</td> </tr> <tr> <td>整地工(畑)</td> </tr> </table>	主たる工種	区画整理(畑)	評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)	整地工(畑)				
	評価基準				同種工事工種	区画整理整地(畑または水田)																		
				規模(工事量)	25.7ha																			
実績	工種・規模	整地工(水田) A=8.8ha																						
評価	当該工事規模の1/2未満(12ha) : 0.50																							
主たる工種	区画整理(畑)																							
評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)																							
	整地工(畑)																							
主たる工種	区画整理(畑)																							

入札に付する事項		入札に参加する者に必要な資格	企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」		配置予定技術者の「配置経験」																			
制限付 一般競争 8	畑地帯 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 25.7ha 暗渠排水 A= 11.3ha 客土 A= 8.6ha 排水路 L= 725m(V30~V60)	「暗渠排水(畑または水田)」工事A=5ha以上の元請け実績及び「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>暗渠排水(畑または水田)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>11.3ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>暗渠排水(水田) A=43.5ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模以上 : 1.00</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「暗渠排水(畑または水田)」なので、実績に整地工(○○)は該当しませんが、暗渠排水(水田)A=43.5haは該当します。</p>	評価基準	同種工事工種	暗渠排水(畑または水田)	規模(工事量)	11.3ha	実績	工種・規模	暗渠排水(水田) A=43.5ha	評価	当該工事規模以上 : 1.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>暗渠排水(畑)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>整地工(水田)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> <tr> <td>整地工(畑)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(畑)</td> </tr> </table>	主たる工種	暗渠排水(畑)	評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)	暗渠排水(水田)	整地工(畑)	暗渠排水(畑)		
	評価基準				同種工事工種	暗渠排水(畑または水田)																		
				規模(工事量)	11.3ha																			
実績	工種・規模	暗渠排水(水田) A=43.5ha																						
評価	当該工事規模以上 : 1.00																							
主たる工種	暗渠排水(畑)																							
評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)																							
	暗渠排水(水田)																							
	整地工(畑)																							
	暗渠排水(畑)																							
主たる工種 暗渠排水(畑)	過去15カ年																							
制限付 一般競争 9	畑地帯 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 25.7ha 暗渠排水 A= 11.3ha 客土 A= 8.6ha 排水路 L= 725m(V30~V60)	「客土(畑または水田)又は区画整理整地(畑または水田)」工事A=4ha以上の元請け実績及び「水路(現場打又は装工又は管水路)」工事の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>客土(畑または水田)又は区画整理整地(畑または水田)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>8.6ha</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>整地工 A=8.8ha</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">当該工事規模以上 : 1.00</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「客土(畑または水田)又は区画整理整地(畑または水田)」なので、実績は暗渠排水(○○)は該当しませんが、「整地工(水田)A=8.8ha:1.00点(工事規模以上)」と「客土(水田)A=7.3ha:0.75点(工事規模の1/2以上)」は該当します。申請は評価点の高い「整地工(水田)A=8.8ha:1.00(工事規模以上)」とする。</p>	評価基準	同種工事工種	客土(畑または水田)又は区画整理整地(畑または水田)	規模(工事量)	8.6ha	実績	工種・規模	整地工 A=8.8ha	評価	当該工事規模以上 : 1.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>客土(畑)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>整地工(水田)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(水田)</td> </tr> <tr> <td>客土(水田)</td> </tr> <tr> <td>整地工(畑)</td> </tr> <tr> <td>暗渠排水(畑)</td> </tr> <tr> <td>客土(畑)</td> </tr> </table>	主たる工種	客土(畑)	評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)	暗渠排水(水田)	客土(水田)	整地工(畑)	暗渠排水(畑)	客土(畑)
	評価基準				同種工事工種	客土(畑または水田)又は区画整理整地(畑または水田)																		
				規模(工事量)	8.6ha																			
実績	工種・規模	整地工 A=8.8ha																						
評価	当該工事規模以上 : 1.00																							
主たる工種	客土(畑)																							
評価基準 (同種工事工種)	整地工(水田)																							
	暗渠排水(水田)																							
	客土(水田)																							
	整地工(畑)																							
	暗渠排水(畑)																							
客土(畑)																								
主たる工種 客土(畑)	過去15カ年																							
制限付 一般競争 10	中山間 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 11.7ha 暗渠排水 A= 11.7ha 用水路 L= 949m (VUφ150~φ250) 営農用水 L= 1,681m (VWPφ100~φ150)	「管路(営農用水・畑かん)」工事L=840m以上の元請け実績及び「用水路(現場打又は装工又は管水路)」工事の元請け実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価基準</td> <td>同種工事工種</td> <td>管路(営農用水・畑かん)</td> </tr> <tr> <td>規模(工事量)</td> <td>L=1,681m</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>工種・規模</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td colspan="2">なし : 0.00</td> </tr> </table> <p>※同種工事工種が「管路(営農用水・畑かん)」なので、「用水路(管水路)」の実績は該当しません。</p>	評価基準	同種工事工種	管路(営農用水・畑かん)	規模(工事量)	L=1,681m	実績	工種・規模	なし	評価	なし : 0.00		<table border="1"> <tr> <td>主たる工種</td> <td>管路(営農用水・畑かん)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">評価基準 (同種工事工種)</td> <td>管路(営農用水)</td> </tr> <tr> <td>管路(畑かん)</td> </tr> <tr> <td>管路(上水道)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※「営農用水・畑かん」と「用水路(管水路)」の優先順位(上位互換)は、ありません。</td> </tr> </table>	主たる工種	管路(営農用水・畑かん)	評価基準 (同種工事工種)	管路(営農用水)	管路(畑かん)	管路(上水道)	※「営農用水・畑かん」と「用水路(管水路)」の優先順位(上位互換)は、ありません。		
	評価基準				同種工事工種	管路(営農用水・畑かん)																		
				規模(工事量)	L=1,681m																			
実績	工種・規模	なし																						
評価	なし : 0.00																							
主たる工種	管路(営農用水・畑かん)																							
評価基準 (同種工事工種)	管路(営農用水)																							
	管路(畑かん)																							
	管路(上水道)																							
※「営農用水・畑かん」と「用水路(管水路)」の優先順位(上位互換)は、ありません。																								
主たる工種 管路(営農用水・畑かん)	過去15カ年																							

入札に付する事項		入札に参加する者に必要な資格	企業の施行能力の「過去10年間の同種工事の経験」		配置予定技術者の「配置経験」	
制限付 一般競争 11	中山間 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 11.7ha 暗渠排水 A= 11.7ha 用水路 L= 949m (VUφ150~φ250) 営農用水 L= 1,681m (VWPφ100~φ150)	「用水路（現場打又は装工又は管水路）」工事L=470m以上の元請け実績及び「管路（営農用水・畑かん）」工事の元請け実績	評価基準	同種工事工種 用水路（現場打又は装工又は管水路）	主たる工種 用水路（管水路）	評価基準 用水路（現場打ちコン） 用水路（二次製品） 用水路（管水路） ※「用水路（管水路）」と「営農用水・畑かん」の優先順位（上位互換）は、ありません。
	規模（工事量）		L=949m			
	実績 工種・規模		用水路（二次製品）L=900m			
主たる工種 用水路（管水路）	過去15カ年	評価 当該工事規模の1/2以上（474m）：0.75	※同種工事工種が「用水路（現場打又は装工又は管水路）」なので、実績は用水路（現場打ちコン）、用水路（二次製品）、用水路（管水路）のどれでもよいが、評価点の高い「用水路（二次製品）L=900m：0.75点（工事規模の1/2以上）」を申請する。 <参考>「用水路（管水路）L=837m：0.75点（工事規模の1/2以上）」			
制限付 一般競争 12	中山間 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 11.7ha 暗渠排水 A= 11.7ha 用水路 L= 949m (VUφ150~φ250) 営農用水 L= 1,681m (VWPφ100~φ150)	「暗渠排水（畑または水田）」工事A=5ha以上の元請け実績及び「水路（現場打又は装工又は管水路）」工事の元請け実績	評価基準	同種工事工種 暗渠排水（畑または水田）	主たる工種 暗渠排水（畑）	評価基準 整地工（水田） 暗渠排水（水田） 整地工（畑） 暗渠排水（畑）
	規模（工事量）		11.7ha			
	実績 工種・規模		暗渠排水（水田） A=43.5ha			
主たる工種 暗渠排水（畑）	過去15カ年	評価 当該工事規模以上：1.00	※中山間事業の面工事場合、同種工事工種の「水田」「畑」の区分は「『入札の公告（別紙）』の『本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事』欄の規模の記載のある工種」により判断する。			
制限付 一般競争 13	中山間 ○○地区 ○工区 整地工(改良山成) A= 11.7ha 暗渠排水 A= 11.7ha 用水路 L= 949m (VUφ150~φ250) 営農用水 L= 1,681m (VWPφ100~φ150)	「暗渠排水（水田）」工事A=5ha以上の元請け実績及び「水路（現場打又は装工又は管水路）」工事の元請け実績	評価基準	同種工事工種 暗渠排水（水田）	主たる工種 暗渠排水（水田）	評価基準 整地工（水田） 暗渠排水（水田）
	規模（工事量）		11.7ha			
	実績 工種・規模		暗渠排水（水田） A=43.5ha			
主たる工種 暗渠排水（水田）	過去15カ年	評価 当該工事規模以上：1.00	※中山間事業の面工事場合、同種工事工種の「水田」「畑」の区分は「『入札の公告（別紙）』の『本工事と同種でかつおおむね同規模と認められる工事』欄の規模の記載のある工種」により判断する。			

<参考資料2> 自己採点申請書の配置予定技術者の評価方法について

令和5年度ガイドライン用

配置予定技術者の評価方法

《単体の場合》

(1) 配置予定技術者を特定できない場合
各候補者の内評価の合計が最も低い者で評価する。

①	配置予定技術者	A社			評価
		ア	イ	ウ	
	資格	1.00	1.00		0.25
	継続教育	0.50	0.00	0.50	0.50
	優秀技術者表彰	0.50	0.50	0.00	0.00
	配置経験	0.50	0.50	0.00	0.00
	計	2.50	2.00	0.75	0.75

《共同企業体の場合》

(2) 構成員の配置予定技術者が特定できない場合
構成員の評価はその構成員の各候補者の内、評価の合計が最も低い者で評価し、その共同企業体の評価は、その構成員の評価の中で最も合計点が高い構成員の者で評価する。

②	配置予定技術者	A社			B社			C社			評価	評価
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ		
	資格	1.00	1.00	0.50	1.00	0.50	0.75	1.00	0.50	0.00	1.00	0.50
	継続教育	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50
	優秀技術者表彰	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
	配置経験	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	2.50	1.00	1.00	1.00	1.00	0.75	2.50	0.50	0.50	1.00	1.00

(3) 配置予定技術者が特定できる構成員と、できない構成員が混在する場合
配置予定技術者を特定出来ない構成員の評価はその構成員の各候補者の内、評価の合計が最も低い者で評価とする。

共同企業体の評価は、その構成員の評価の中で最も合計点が高い者と配置予定技術者を特定できる構成員における各項目で最も評価の高い構成員の者で評価した合計を比較し、高い者で評価する。

③	配置予定技術者	A社			B社			C社			評価
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ			
	資格	1.00	1.00	0.25	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	1.00	
	継続教育	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	配置経験	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計	1.00	1.00	0.75	0.50	1.50	0.50	0.50	0.00	1.00	

④	配置予定技術者	A社			B社			C社			評価
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ			
	資格	1.00	1.00	0.25	0.00	1.00	0.25	1.00	0.00	1.00	
	継続教育	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	
	配置経験	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計	1.00	1.00	0.75	0.50	1.50	0.75	1.00	0.00	1.00	

⑤	配置予定技術者	A社	B社	C社	評価	
		ア	イ	エ		オ
	資格	0.00	1.00	1.00	0.50	1.00
	継続教育	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
	配置経験	0.00	0.50	0.00	0.00	0.50
	計	0.50	1.50	1.50	1.00	2.00

特定できる時
(A・B)だけ
「いいとこ取り」できる。

(4) 構成員の配置予定技術者がすべて特定できる場合
各項目で、最も評価の高い構成員の者で共同企業体の評価をする。

⑥	配置予定技術者	A社	B社	C社	評価
		ア	イ	ウ	
	資格	1.00	0.50	0.00	1.00
	継続教育	0.00	0.00	0.50	0.50
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.50	0.50
	配置経験	0.50	0.00	0.00	0.50
	計	1.50	1.00	0.50	2.50

特定できる時
(A・B・C)だけ
「いいとこ取り」できる。

様式-5 配置予定技術者調書の記載

一左記の評価のまま記載
(最低点のためこれ以上、下がない)

①	配置予定技術者	A社			評価
		ア	イ	ウ	
	資格				0.25
	継続教育				0.50
	優秀技術者表彰				0.00
	配置経験				0.00
	計				0.75

一A社は左記の評価「イ」または「ウ」を選択して記載
C社は左記の評価「ク」または「ケ」を選択して記載
(ABC社で最も高いA社での最低点のためこれ以上、下がない)

②	配置予定技術者	A社			B社			C社			評価
		イ	ウ	エ	カ	ク	ケ				
	資格	1.00	0.50	0.75	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	継続教育	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	配置経験	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計	1.00	1.00	0.75	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	1.00	

一C社は左記の評価「カ」または「キ」を選択して記載
(ABC社で最も高いA社で特定できるため、これ以上、下がない)

③	配置予定技術者	A社			B社			C社			評価
		ア	エ	カ	キ						
	資格	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	継続教育	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	
	配置経験	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計	1.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00	

← ※B社イなら0.00
← ※C社オ・カなら0.00

一左記の評価のまま記載
(最低点のためこれ以上、下がない)

④	配置予定技術者	A社	B社	C社	評価
		ア	エ	カ	
	資格	1.00	0.00	0.25	1.00
	継続教育	0.00	0.50	0.00	0.00
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.50	0.00
	配置経験	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	1.00	0.50	0.75	1.00

← ※B社イなら0.00
← ※C社エ・キなら0.00

一左記の評価のまま記載
(ABC社で特定できるABがCより高いため、これ以上、下がない)

⑤	配置予定技術者	A社	B社	C社	評価
		ア	イ	オ	
	資格	0.00	1.00	0.50	1.00
	継続教育	0.50	0.00	0.00	0.50
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.50	0.00
	配置経験	0.00	0.50	0.00	0.50
	計	0.50	1.50	1.00	2.00

← ※C社エなら0.00

一左記の評価のまま記載
(ABC社全て特定できるため、これ以上、下がない)

⑥	配置予定技術者	A社	B社	C社	評価
		ア	イ	ウ	
	資格	1.00	0.50	0.00	1.00
	継続教育	0.00	0.00	0.50	0.50
	優秀技術者表彰	0.00	0.00	0.50	0.50
	配置経験	0.50	0.00	0.00	0.50
	計	1.50	1.00	0.50	2.50

様式-12 自己採点申請書の評価

正	評価
	0.25
	0.50
	0.00
	0.00
	0.75

誤となる
可能性あり

特定できない場合は「いいとこ取り」をすると、履行確認の際にペナルティになることがあるので自己採点申請書に記載する時は「誰になっても評価が下がらない」ように注意が必要。

「配置予定技術者調書」だけ考えて、「いいとこ取り」をして記載したが、履行確認時に評価点が下がり、ペナルティになる例。

ただし、履行確認時に計が記載した評価値以上になれば問題ない。

評価	評価
イ	ウ
1.00	0.50
0.00	0.50
0.00	0.00
0.00	0.00
1.00	1.00

評価
ア+エ+キ
1.00
0.50
0.50
2.00

評価
ア+エ+カ
1.00
0.50
0.50
2.00

評価
ア+イ+オ
1.00
0.50
0.50
2.50

<参考資料3>

技術評価項目申請書の分割・集約

令和5年度ガイドライン用

様式	年度	入札当日提出資料												入札参加申請時提出資料		
技術評価項目申請書	令和3年度	表紙	様式4 ・工事成績 ・優秀業者表彰 ・ISOの取得	(別紙) 過去10年間の 工事実績	(別紙) 地域精進度	様式5 ・応募予定候補者	様式6-1 ・技術者の育成・確保	様式6-2 ・新規の雇用	様式6-3 ・高齢者継続雇用	様式6-4 ・主たる営業所 ・維持増進活動 ・緊急時の応急措置 ・多様な雇用への取組 ・環境対策	様式6-5 ・季節労働者雇用実績 ・労働安全衛生活動 ・地域企業への取組	様式7 ・地域活性化	確認資料 事前登録項目	確認資料 事前登録項目以外	様式12	
	事前登録なし	表紙	様式4 ・工事成績 ・優秀業者表彰 ・ISOの取得	(別紙) 過去10年間の 工事実績	(別紙) 地域精進度	様式5 ・応募予定候補者	様式6-1(1) ・技術者の追加配属	様式6-2 ・新規の雇用	様式6-3 ・高齢者継続雇用	様式6-4 ・主たる営業所 ・維持増進活動 ・緊急時の応急措置 ・多様な雇用への取組	様式6-5(1) ・環境対策 ・季節労働者雇用実績 ・労働安全衛生活動	様式6-5(2) ・地域企業への取組 ・地域活性化	様式7 ・地域活性化	確認資料 事前登録項目	確認資料 事前登録項目以外	様式12
	事前登録済	表紙				様式5 ・応募予定候補者	様式6-1(1) ・技術者の追加配属					様式6-5(2) ・地域企業への取組 ・地域活性化	様式7 ・地域活性化	事前登録票 ・通知文 ・その1 ・その2 ・その3	確認資料 事前登録項目以外	様式12
事前登録申請書	令和4年度以降	表紙 (事前登録用)	様式4 ・工事成績 ・優秀業者表彰 ・ISOの取得	(別紙) 過去10年間の 工事実績 (事前登録用)	(別紙) 地域精進度 (事前登録用)		様式6-1(2) ・技術者の育成・確保	様式6-2 ・新規の雇用	様式6-3 ・高齢者継続雇用	様式6-4 ・主たる営業所 ・維持増進活動 ・緊急時の応急措置 ・多様な雇用への取組	様式6-5(1) ・環境対策	(別紙) 季節労働者 等雇用実績	確認資料 事前登録項目		様式12 (事前登録用)	
事前登録票	令和4年度以降												事前登録票 ・通知文 ・その1 ・その2 ・その3			

入札当日提出様式
 事前登録により省略可能な様式
 事前登録様式
 事前登録票
 確認資料
・事前登録項目

様式名が赤字 → 令和4年度改正時変更様式
 評価項目名が青字 → 事前登録可能項目
 確認資料
・事前登録項目以外